

BOUSAI 防災 No3 つうしん

市民の皆さま、地域防災課です。

私たちは、親子で楽しく防災を学ぶ機会として「親子防災教室」を年2回開催しています。

令和8年2月28日(土)に北公民館で実施した際は、子ども21名、保護者16名の計37名の親子が参加しました。

実際にどんなことをしたのか、少しだけ紹介します！

目的は、児童生徒やその保護者が、家族で防災や減災について話し合うきっかけをつくり、災害に対する心構えや正しい知識を習得していただき、家族の防災意識の高揚、地域の防災力の向上、さらには防災活動の活性化に繋がることをめざしています。

まず、参加者全員館外で 順番に起震車に乗って震度7まで体験しました。

震度体験

しっかり説明を聞いて...



お母さん！早く!! 早く!!
テーブルの下にもぐって!!



順番を待っている間は、1F ロビーや館外でいろいろな体験をします。

館外の「いろいろな防災体験」の様子

初期消火体験



消防車両資機材体験



幼年防火衣の試着体験



災害写真展示



応急手当体験



「非常持ち出し品」「備蓄品」展示

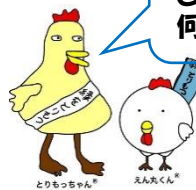


非常食展示



後半は、一人ひとりの避難行動計画である「マイタイムラインの作成」と「避難所資機材体験」です

「マイタイムライン作成」



お家はどこかな？危険な場所は？
どこへ避難する？避難所はどこ？
何をしてあげばいいの？

「避難所資機材体験」の様子

パーティション



ダンボールベッド



簡易ベッド



住宅用火災警報器



担架



一人用トイレ



車いす用トイレ



一人用トイレテントは「能登半島地震」で
実際に使われたものと同じなんだよ！

最後に 参加者全員で「いつ起きてもおかしくない！災害について」の防災講話を聞いて…
ガチャを回して…おみやげをもらって…終了です。

防災講話



楽しかったね!!



【みんなの感想】

- ・ハザードマップや展示品などをみて、災害はきびしく、むずかしいんだなあと、あらためてしりました。
- ・お家に帰ったら、防災対策を見直そうと思いました。
- ・いろいろなことをおしえてくれて、ありがとうございました。
- ・消火器をつかって、たのしかった。
- ・マイタイムラインがわかりやすかった。
- ・防災バッグや避難所にもっていくものを、まとめておこうと思えた。
- ・マイタイムラインの作成は、普段の生活を見直すいい機会でした。
- ・災害について親子で考えるきっかけとなる貴重な時間を過ごせました。
- ・小さな頃からあたりまえのように、体験したり、考えておくことが、いざという時に身を守ることにつながると思いました。

この他にもたくさんの感想をいただきました